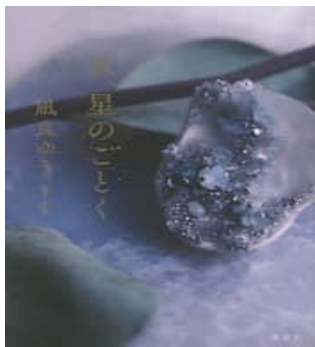


図書館だより ～新着図書のご案内～ No.1

令和5年5月18日

南 中 図 書 館

＊本屋大賞受賞作品＊ なんじ



「汝、星のごとく」

2023年本屋大賞受賞作。

その愛は、あまりにも切ない。正しさに縛られ、愛に呪われ、それでもわたしたちは生きていく。2020年本屋大賞受賞作『流浪の月』著者の、心の奥深くに響く最高傑作。生きることの自由さと不自由さを描き続けてきた著者が紡ぐ、愛の物語。



「ラブカは静かに弓を持つ」

2023年本屋大賞第2位。

少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇。それ以来、悪夢に苦しみながら生きてきた橘は勤務先の全日本音楽著作権連盟の上司から、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むことなのだが……。



「月の立つ林で」

長年勤めた病院を辞めた元看護師、売れないながらも夢を諦めきれない芸人、娘や妻との関係に寂しさを抱える整備士、親から離れて早く自立したいと願う女子高生、家族とのバランスに悩むアクセサリー作家。つまりいてばかりの日常の中で、最後に驚きの事実と読後に気づく見えない繋がりが胸を打つ。



「君のクイズ」

2023年日本推理作家協会賞受賞作。

『Q-1グランプリ』決勝戦に出場したクイズプレイヤーの三島は対戦相手・本庄が、まだ問題が読まれぬうちに回答し正解し、優勝を果たすという不可解な事態をいぶかしむ。いったい彼はなぜ、正答できたのか？真相を解明しようとする……。



「宙ごはん」

大丈夫。わたしを頼って。きっと、この物語はあなたの人生を支えてくれる。2021年本屋大賞第1位『52ヘルツのクジラたち』『星を掬う』の先にたどり着いたどこまでも温かく、やさしいやさしい救いと再生の物語。